

劇場・音楽堂等機能強化推進事業  
(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業)

成果報告書

(平成30～令和2年度 3か年分)

団 体 名	公益財団法人神奈川芸術文化財団
施 設 名	神奈川県立県民ホール (本館・KAAT 神奈川芸術劇場)
助 成 対 象 活 動 名	神奈川県芸術文化創造総合センター推進事業
助 成 期 間	3 (年間)
内 定 額	平成30年度 60,755 平成31年度 56,527 令和2年度 54,547 (千円)

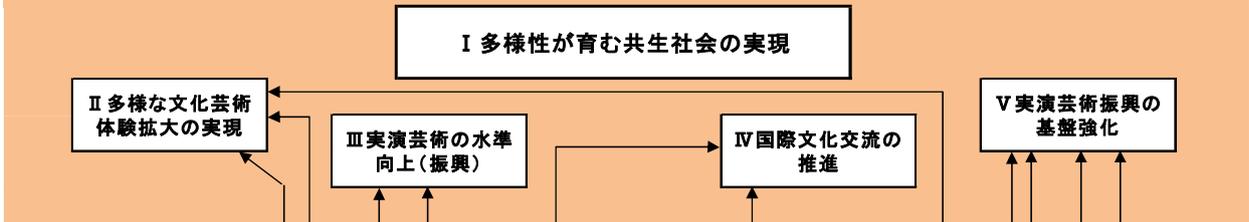
# 1. 事業概要

## (1) 事業計画の概要

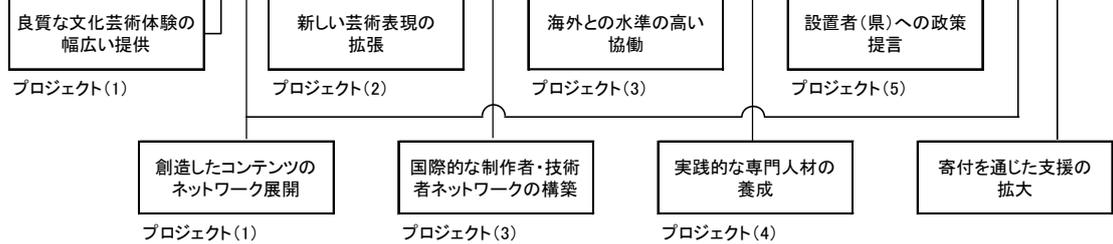
全体図（概念図）

（事業名） **神奈川県芸術文化創造総合センター推進事業** （※旧事業から継続3年目／5年採択）

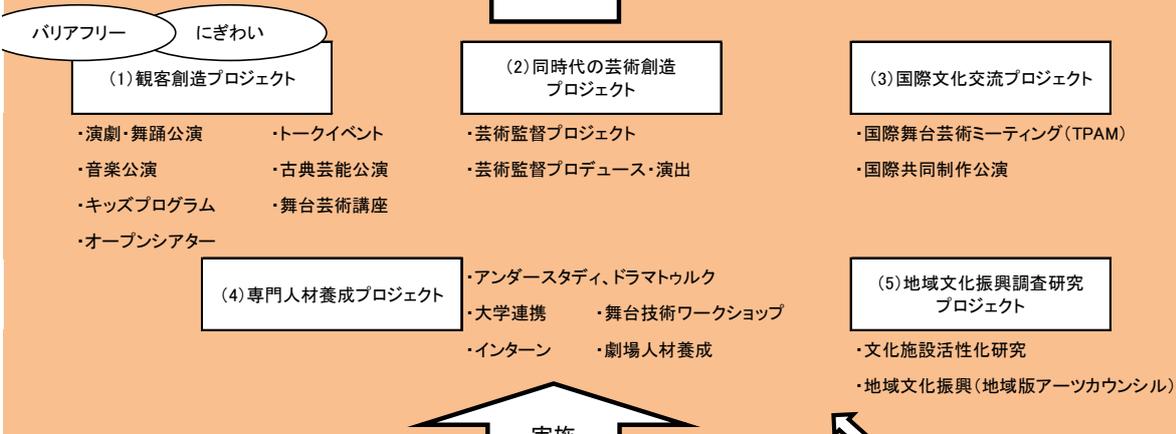
○アウトカム



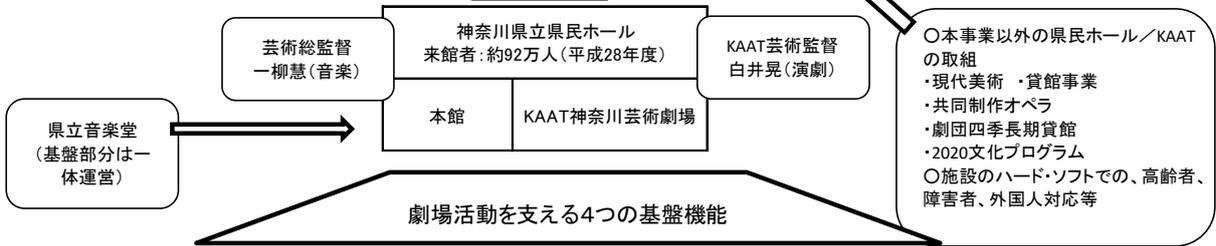
○目標\* ( )は対応する主なプロジェクト



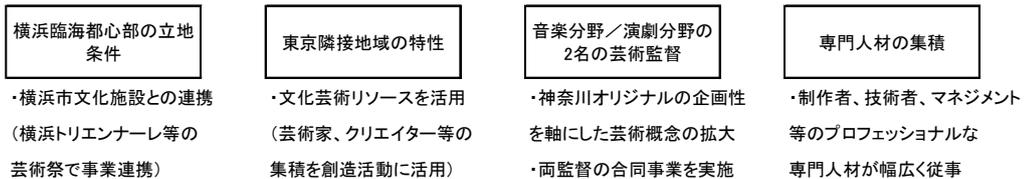
○プロジェクト(主な事業類型の例)



○事業実施を支える機能等



劇場活動を支える4つの基盤機能



## (2) 令和2年度実施事業一覧

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	I 観客創造プロジェクト音楽劇「銀河鉄道の夜 2020」	2020年9月20日～ 10月4日	「銀河鉄道の夜」 演出：白井晃 脚本：能祖将夫 出演者：木村達成、佐藤寛太、宮崎秋人 他	目標値	9,600
		芸術劇場 ホール		実績値	3,647※
2	I 観客創造プロジェクト県民ホール・オペラ・シリーズ（地域巡回公演）オペラ「ヘンゼルとグレーテル」	①2020年8月10日 ※ ②2020年8月19日 ※	新型コロナウイルス感染拡大防止のため 中止	目標値	425
		①海老名市文化会館 ②県民ホール 小ホール		実績値	—※
3	I 観客創造プロジェクト「情報保障を取り込んだ作品制作」の可能性を探るワークショップ	2020年8月29日、 9月27日、11月25日、 2021年3月21日	・「ラボ」全3回 ・視覚言語がつくる演劇のことは「夢の男」上演&トーク	目標値	250
		オンライン配信 ※		実績値	547※
4	I 観客創造プロジェクト KAAT 神奈川芸術劇場 芸術監督トーク「SHIRAI's CAFÉ」	2020年8月25日～ 9月30日	「SHIRAI's CAFÉ」 出演：白井晃 ゲスト：オーサカモノレール、中田亮	目標値	300～450
		オンライン配信 ※		実績値	2,010 ※
5	I 観客創造プロジェクト森山開次振付作品「星の王子さま -サン・デグジュペリからの手紙」	2020年11月11日～15日	「星の王子さま -サン・デグジュペリからの手紙」 振付・演出・出演：森山開次 出演：アオイヤマダ、小尻健太、酒井はな、島地保武	目標値	4,000
		芸術劇場 ホール		実績値	2,735※
6	I 観客創造プロジェクト舞踊シリーズ 横浜バレエ・フェスティバル 2020	2020年8月1日 ※	新型コロナウイルス感染拡大防止のため 中止	目標値	1,700
		県民ホール 大ホール		実績値	—※
7	I 観客創造プロジェクトファンタスティック・ガラコンサート 2020	2020年12月29日	ファンタスティック・ガラコンサート 2020 指揮：太田弦 司会・バリトン：宮本益光 ソプラノ：森野美咲他	目標値	1,844
		県民ホール 大ホール		実績値	988※
8	I 観客創造プロジェクト①「パイプオルガン・プロジェクト オルガン・プロムナードコンサート」②「オルガン3館連携事業」	2020年10月～3月※	①「オルガン・プロムナードコンサート」出演：三上郁代、野田美香他 ②新型コロナウイルス感染拡大防止のため 中止	目標値	2,600
		県民ホール 小ホール		実績値	710※
9	I 観客創造プロジェクトパイプオルガン・プロジェクト オルガン・リサイタルシリーズ&クリスマスコンサート	①2020年11月19日※ ②2020年12月12日	①「オルガン・リサイタルシリーズ」新型コロナウイルス感染拡大防止のため 中止 ②「オルガン・クリスマスコンサート」 出演：梅干野安未、平野公崇	目標値	600
		県民ホール 小ホール		実績値	150※
10	I 観客創造プロジェクトオープンシアター2020 ①オーケストラ・コンサート ②ワンコイン・コンサート	2020年5月31日※	①②新型コロナウイルス感染拡大防止のため 中止	目標値	2,514
		①県民ホール 大ホール ②県民ホール 小ホール		実績値	—※
11	I 観客創造プロジェクト KAAT キッズ・プログラム 2020 『さいごの1つ前』	2020年8月16日～23日 ※	新型コロナウイルス感染拡大防止のため 中止	目標値	1,078
		芸術劇場 大スタジオ		実績値	—※

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
12	I 観客創造プロジェクト 舞台芸術講座 ①オルガン講座／②オペラ講座／③チェンバロ講座	①2020年4月17日※ ②2020年9月26日 ③2021年3月27日	①新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ②舞台芸術講座 オペラ「トゥーランドット」の魅力 ③舞台芸術講座 チェンバロの魅力Ⅷ Mélangier ～混ぜる	目標値	840
		県民ホール 小ホール		実績値	407※
13	II 同時代の芸術創造プロジェクトー柳慧芸術総監督就任20周年記念プロジェクト 東京フィルハーモニー交響楽団演奏会	2021年2月13日	監修：一柳慧 指揮：鈴木優人 出演：成田達輝、東京フィルハーモニー交響楽団	目標値	1,271
		県民ホール 大ホール		実績値	460※
14	II 同時代の芸術創造プロジェクト舞踊シリーズ 東京バレエ団「M」	2020年11月21日	「M」 出演：東京バレエ団 飯田宗孝（団長）、斎藤友佳理（芸術監督）	目標値	1,556
		県民ホール 大ホール		実績値	901※
15	II 同時代の芸術創造プロジェクト 岡田利規演出作品「未練の幽霊と怪物」	2020年6月27日～28日※	『「未練の幽霊と怪物」の上演の幽霊』 作・演出：岡田利規 出演：森山未来、片桐はいり、栗原類他	目標値	4,000
		オンライン配信 ※		実績値	4,800※
16	II 同時代の芸術創造プロジェクト KAAT×地点 松原俊太郎新作「君の庭」	2020年10月1日～11日	「君の庭」 演出：三浦基 脚本：松原俊太郎 出演者：安部聡子、石田大、小河原康二他	目標値	1,000
		芸術劇場 大スタジオ		実績値	527※
17	II 同時代の芸術創造プロジェクト 谷賢一演出「人類史」	2020年10月23日～11月3日	「人類史」 作・演出：谷賢一 出演者：東出昌大、昆夏美、山路和弘他	目標値	4,000
		芸術劇場 ホール		実績値	3,313※
18	II 同時代の芸術創造プロジェクト小野寺修二「Knife」	2020年12月3日～6日	「Knife」 演出：小野寺修二 出演：大庭裕介、梶原暁子、崎山莉奈、ミン・ヌヴァン、リウ・ジュイチュー他	目標値	1,280
		芸術劇場 中スタジオ		実績値	394※
19	III 国際文化交流プロジェクト国際舞台芸術ミーティング in 横浜 (TPAM in Yokohama)	2021年2月6日～14日	DULL-COLORED POP「福島三部作」、「Manila Zoo (ワーク・イン・パンデミック)」	目標値	3,000
		芸術劇場、他横浜市内施設		実績値	1,261※
20	IV 専門人材養成プロジェクト 舞台技術講座	2021年3月12日～※	舞台芸術×障害者～舞台技術者がインクルーシブシアターを考える～【音声ガイドサービス編】	目標値	120
		オンライン配信 ※		実績値	74※
21	IV 専門人材養成プロジェクト (1) 新しい才能の発掘育成プロジェクト プロフェッショナルアーティスト養成事業	2020年9月～10月	グランドオペラ共同制作「トゥーランドット」アンダースタディ、「トゥーランドット」コンサート	目標値	40
		県民ホール		実績値	1
22	IV 専門人材養成プロジェクト 劇場人材能力開発プロジェクト 劇場運営マネージメント プロフェッショナル人材養成講座	2021年3月23日	シリーズ【これからのインクルーシブ社会と公立文化施設の取り組み】 第13回「見えない世界を歩く」白杖体験	目標値	70
		県民ホール		実績値	24※
23	IV 専門人材養成プロジェクト インターン 公演制作（音楽、演劇）、舞台技術	2021年2月6日～14日	・公演制作（演劇） ・公演制作（音楽）、舞台美術は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	目標値	15
		芸術劇場		実績値	3※

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
24	Ⅳ 専門人材養成プロジェクト (東京音楽大学、他)	2021年2月19日	「【シューベルティアード】誰もがシューベルトを好きになる。－東京音楽大学の学生と小森輝彦とともに－」の制作実習	目標値	30
		県民ホール 小ホール		実績値	10
25	Ⅳ 専門人材養成プロジェクト 2020年度 KAAT×YNU 横浜国立大学 連携講座「芝居の大学」	2021年2月23日、 3月2日、9日、16日	講師：眞野純、藤原徹平、中野敦之、本杉省三、大島幹雄、河合千佳、坂田裕貴	目標値	延べ 150
		オンライン開催 ※		実績値	155
26	Ⅳ 専門人材養成プロジェクト 大学等との連携 (昭和音楽大学)	11月3日、21日、 12月6日、19日	講師：県民ホール・芸術劇場職員他	目標値	30
		昭和音楽大学、 県民ホール、芸術劇場		実績値	22
27	Ⅳ 専門人材養成プロジェクト 劇場間人材交流事業	2020年度内 ※	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	目標値	1
		芸術劇場		実績値	－※
28	Ⅴ 地域文化振興調査研究プロジェクト 神奈川県立文化施設（県民ホール、KAAT）活性化計画プログラム（行動案作成）	2020年4月～ 2021年3月	これまでのプロジェクト内容の総括と冊子作成	目標値	20
		県民ホール、芸術劇場		実績値	8※

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

### (3) 平成31年度実施事業一覧

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場			
1	I 観客創造プロジェクト KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース「常陸坊海尊」	2019年12月11日～22日	「常陸坊海尊」 出演 白石加代子 中村ゆり 平埜生成 尾上寛之 他 演出 長塚圭史	目標値	7,000
		芸術劇場 ホール		実績値	5,272
2	I 観客創造プロジェクト ①オルガン・プロムナードコンサート ②オルガン3館連携事業	2019年4月～2月	①オルガン・プロムナードコンサート 出演：内藤光音、アマダ・モール ②オルガン三館連携事業 出演：荻野由美子	目標値	2,600
		県民ホール 小ホール		実績値	2,027
3	I 観客創造プロジェクト ①オルガン・リサイタルシリーズ ②クリスマスコンサート	①2019年7月13日 ②2019年12月20日	①オルガン・リサイタルシリーズ 出演：三浦はつみ ②クリスマスコンサート 出演：荻野由美子	目標値	560
		県民ホール 小ホール		実績値	488
4	I 観客創造プロジェクト ファンタスティック・ガラコンサート2019	2019年12月29日	ファンタスティック・ガラコンサート2019 出演：松尾葉子（指揮）宮本益光（司会・バリトン）幸田浩子（ソプラノ）他	目標値	1,911
		県民ホール 大ホール		実績値	2,152
5	I 観客創造プロジェクト 横浜バレエ・フェスティバル2019	2019年8月3日	横浜バレエ・フェスティバル2019 出演：小池ミモザ、菅井円加、平田桃子、津川友利恵、エドワール・ユ 他	目標値	1,700
		県民ホール 大ホール		実績値	1,574
6	I 観客創造プロジェクト 松山バレエ団「新・白鳥の湖」	2019年3月20日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	目標値	1,686
		県民ホール 大ホール		実績値	—
7	I 観客創造プロジェクト 地域巡回公演 オペラ「ヘンゼルとグレーテル」	①2019年8月4日 ②2019年8月10日	オペラ「ヘンゼルとグレーテル」日本語上演 出演：宮本益光（バリトン）、鶴木絵里（ソプラノ）、青木エマ（ソプラノ）、岡本知高（ソプラニスタ）	目標値	840
		①南足利市文化会館 ②秦野市文化会館		実績値	1,165
8	I 観客創造プロジェクト オープンシアター2019 ①『白鳥の湖』②ワンコイン・コンサート	2019年6月2日	①子どものためのバレエ「白鳥の湖」 ②ワンコインコンサート オルガンと声楽	目標値	3,926
		①県民ホール 大ホール ②県民ホール 小ホール		実績値	2,847
9	I 観客創造プロジェクト KAAT キッズ・プログラム2019「ルー」	2019年7月28日、29日	「ルー」出演・スタッフ等：PONTEN PIA（スペイン、バレンシア地方）	目標値	330
		芸術劇場 大スタジオ		実績値	319
10	I 観客創造プロジェクト 舞台芸術講座 ①オペラ講座（巡回）②オペラ講座③オルガン講座④チェンバロ講座	2019年9月～ 2020年3月	①オペラ講座「カルメン」の魅力 ②オペラ講座「カルメン」の魅力 ③オルガン講座「フーガの技法」 ④チェンバロの魅力 ③の2回目と④は中止	目標値	1,578
		①社のホールはしもと ②県民ホール 小ホール		実績値	900
11	I 観客創造プロジェクト 芸術監督アーティスト・トーク	2019年6月1日 11月9日	「SHIRAI'S CAFE」 出演：白井晃 ゲスト：曾我大穂、和田永	目標値	300
		芸術劇場 アトリウム		実績値	300
12	I 観客創造プロジェクト 音声ガイドを取り込んだダンスのワークショップ プログレス	2019年6月～8月	振子びじん、大崎清夏、視覚障害者2名	目標値	180
		芸術劇場 大スタジオ		実績値	180
13	II 同時代の芸術創造プロジェクト 一柳慧プロデュース フラックス弦楽四重奏団	2020年1月11日、18日	出演：フラックス弦楽四重奏団 エリザベス・オゴネク 公開リハーサル、ワークショップ プログレス	目標値	400
		県民ホール 小ホール		実績値	397

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
14	Ⅱ 同時代の芸術創造プロジェクト 「恐るべき子供たち」	2019年5月18日～6月2日	「恐るべき子供たち」 演出：白井晃 出演：南沢奈央、柗木玲弥 ほか	目標値	2,300
		芸術劇場 大スタジオ		実績値	2,695
15	Ⅱ 同時代の芸術創造プロジェクト 「シベリアへ！シベリアへ！シベリアへ！」	2019年5月～7月	kAAT X 地点 演出：三浦其 出演：地点	目標値	980
		芸術劇場 中スタジオ		実績値	1,211
16	Ⅱ 同時代の芸術創造プロジェクト 「ビビを見た！」	2019年7月4日～15日	台本・演出：松井周 出演：岡山天音、石橋静河、樹里咲穂 久ヶ沢徹、瑛蓮、師岡広明 ほか	目標値	1,700
		芸術劇場 大スタジオ		実績値	2,000
17	Ⅱ 同時代の芸術創造プロジェクト 「NIPPON・CHA!CHA!」	2020年1月10日～19日	「ダンス版」「演劇版」 演出・振付：山田うん	目標値	650
		芸術劇場 大スタジオ		実績値	1,325
18	Ⅱ 同時代の芸術創造プロジェクト 「アルトゥロ・ウイの興隆」	2020年1月11日～2月2日	演出：白井晃 出演：草薙剛、松尾諭、渡部豪太 中山祐一朗、細見大輔 ほか	目標値	9,750
		芸術劇場 ホール		実績値	26,532
19	Ⅱ 同時代の芸術創造プロジェクト 「ゴドーを待ちながら」	2019年6月12日～23日	作：サミュエル・ベケット 演出：多田淳之介	目標値	2,300
		芸術劇場 大スタジオ		実績値	2,425
20	Ⅲ 国際文化交流プロジェクト 国際舞台芸術ミーティング in 横浜 (TPAM in Yokohama)	2020年2月8日～16日	fieldworks 「nothing' s for something」 エコ・スプリヤント「イブイブ・ペルー：国境の身体」 他	目標値	2,000
		芸術劇場 他		実績値	2,000
21	Ⅳ 専門人材養成プロジェクト 新しい才能の発掘育成プロジェクト プロフェッショナルアーティスト養成事業	2019年5月～10月	・若手ダンサー養成プログラム ・若手演奏家推薦プログラム ・オーディション事業 ・アンダースタディ	目標値	40
		県民ホール 他		実績値	40
22	Ⅳ 専門人材養成プロジェクト 劇場人材能力開発プロジェクト 劇場運営マネージメント プロフェッショナル人材養成講座	3講座開催予定	演劇人養成プログラム	目標値	80
		県民ホール 他		実績値	80
23	Ⅳ 専門人材養成プロジェクト インターン公演制作（音楽、演劇）、舞台技術	2019年7月～2020年3月	・公演制作（音楽） ・公演制作（演劇）中止 ・舞台美術 中止	目標値	15
		県民ホール 芸術劇場		実績値	2
24	Ⅳ 専門人材養成プロジェクト 大学等との連携（東京音楽大学他）	2019年10月～2020年2月	講師 武石みどり、赤江直美、鳥越彩	目標値	30
		県民ホール		実績値	17
25	Ⅳ 専門人材養成プロジェクト 大学等との連携（昭和音楽大学）	2019年11月～12月	講師：石田麻子 仁科岡彦 赤江直美、鳥越彩	目標値	140
		昭和音楽大学		実績値	60

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
26	Ⅳ 専門人材養成プロジェクト 劇場間人材交流事業	2019年4月～5月	演劇人養成プログラム	目標値	1
		芸術劇場		実績値	1
27	Ⅴ 地域文化振興調査研究プロジェクト 神奈川県立文化施設（県民ホール、KAAT）活性化計画プログラム（行動案作成）	2020年1月～3月	有識者研究会の開催	目標値	20
		県民ホール 他		実績値	42

#### (4) 平成30年度実施事業一覧

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	I 観客創造プロジェクト KAAT 神奈川芸術劇場 プロデュース 「セールスマンの死」	2018年11月3日～18日	「セールスマンの死」 出演：風間杜夫、片平なぎさ、山内圭哉、菅原永二 演出：長塚圭史	目標値	6,750
		芸術劇場 ホール		実績値	5,925
2	I 観客創造プロジェクト まつもと市民芸術館 連携企画 串田和美「新作」	2019年1月26日～ 2月3日	「Mann ist Mann (マン・イスト・マン)」 出演：海老澤健次、大鶴佐助、小椋毅 近藤隼、安蘭けい、串田和美 脚色・演出：串田和美 企画監修：白井晃	目標値	600
		芸術劇場 大スタジオ		実績値	1,262
3	I 観客創造プロジェクト ファンタスティック・ガラ コンサート 2018	2018年12月29日	ファンタスティック・ガラコンサート 2018 出演：松尾葉子(指揮)宮本益光(司会・バリトン)嘉目真木子(ソプラノ)澤原行正(テノール)上野水香、柄本弾(バレエ)	目標値	1,889
		県民ホール 大ホール		実績値	1,898
4	I 観客創造プロジェクト ハイオルガンプロジェクト ①オルガン・リサイタルシリーズ ②クリスマスコンサート	①2018年9月22日 ②2018年12月23日	①オルガン・リサイタルシリーズ 出演：近藤岳 ②オルガン・クリスマスコンサート 出演：エルワン・ル・ブラド、青木早希	目標値	520
		県民ホール 小ホール		実績値	616
5	I 観客創造プロジェクト ①オルガン・プロムナード コンサート ②オルガン3館連携事業	①2018年4～3月 ②2018年10月26日	①オルガン・プロムナードコンサート 出演：小田龍一郎、田宮亮 他 ②オルガン3館連携事業 出演：大木 麻理、イオ・パヴェル	目標値	2,600
		県民ホール 小ホール		実績値	3,036
6	I 観客創造プロジェクト 木ノ下歌舞伎 「摂州合邦辻」	2019年3月14日～17日	木ノ下歌舞伎「摂州合邦辻」 監修・補綴・上演台本：木ノ下裕一 上演台本・演出・音楽：糸井幸之介 出演：内田慈、田川隼嗣、土居志央梨、大石将弘	目標値	1,160
		芸術劇場 大スタジオ		実績値	1,067
7	I 観客創造プロジェクト 舞踊シリーズ 横浜バレエ・フェスティバル 2018	2018年7月21日	横浜バレエ・フェスティバル 2018 出演：小池ミモザ、菅井円加、近藤亜香 & チェンウ・グオ	目標値	1,700
		県民ホール 大ホール		実績値	1,574
8	I 観客創造プロジェクト 舞踊シリーズ「プティパ 生誕200年記念ガラ」	2018年9月1日	東京バレエ団<プティパ・ガラ> 芸術監督：斎藤友佳理 出演：柿崎佑奈、ブラウリオ・アルバレス ほか	目標値	1,831
		県民ホール 大ホール		実績値	1,680
9	I 観客創造プロジェクト 舞踊シリーズ 上野水香 プロデュース「ジュエルズ・ フロム・ミズカII」	2018年11月17日	「Jewels from MIZUKA II」 出演：上野水香、マルセロ・ゴメス、柄本弾他	目標値	1,519
		県民ホール 大ホール		実績値	1,652
10	I 観客創造プロジェクト オープンシアター2018 ①『ヘンゼルとグレーテル』 ②ワンコイン・コンサート	2018年6月3日	①オペラ「ヘンゼルとグレーテル」 指揮：沖澤のどか 演出：田尾下哲 ②ワンコイン・コンサート「オルガンと ヴァイオリンフランス・パリでの出会い」	目標値	3,105
		①県民ホール 大ホール ②県民ホール 小ホール		実績値	2,505
11	I 観客創造プロジェクト キッズプログラム 2018 「NEW OWNER」	2018年8月4日・5日	「ニュー オーナー -幸せを探して- NEW OWNER」 出演者・スタッフ等：ザ・ラスト・グレート・ハント	目標値	480
		芸術劇場 大スタジオ		実績値	263
12	I 観客創造プロジェクト 舞台芸術講座 ①オペラ講座 ②チェンバロ講座	①2018年9月29日 ②2019年3月27日	①舞台芸術講座オペラ「アイーダ」の魅力 講師：青島広志 ②舞台芸術講座 チェンバロの魅力 VI 講師：大塚直哉	目標値	640
		県民ホール 小ホール		実績値	743

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
13	I 観客創造プロジェクト 芸術監督アーティスト・トーク	2018年6月2日、2018年11月17日	「SHIRAI's CAFE」 出演：白井晃 ゲスト：朝比奈尚行、阿部海太郎	目標値	400
		芸術劇場 アトリウム		実績値	300
14	I 観客創造プロジェクト 音声ガイドを取り込んだダンスのワークインプログレス	2018年5～9月	講師：平塚千穂子、牧原依里、岡野宏治、細馬宏通 出演：鈴木光裕、松沼雅之、振子ぴじん、田中みゆき	目標値	200
		芸術劇場		実績値	216
15	II 同時代の芸術創造プロジェクト 芸術監督プロジェクト	2019年3月9日、10日	「Memory of Zero」 音楽監修：一柳 慧 構成演出：白井 晃 振付：遠藤康行 出演：小池ミモザ、鳥居かほり、高岸直樹、引間文佳、遠藤康行他	目標値	560
		県民ホール 大ホール		実績値	765
16	II 同時代の芸術創造プロジェクト 華氏451度	2018年9月28日～10月14日	「華氏451度」 演出：白井晃 上演台本：長塚圭史 出演：吉沢悠、美波、吹越満 他	目標値	7,000
		芸術劇場 ホール		実績値	5,829
17	II 同時代の芸術創造プロジェクト サンプル「グッド・デス・バイブレーション考」	2018年5月5日～15日	「グッド・デス・バイブレーション考」 作・演出：松井周 出演：戸川純、野津あおい、稲継美保、板橋駿谷、椎橋綾那、松井周	目標値	1,400
		芸術劇場 中スタジオ		実績値	1,724
18	II 同時代の芸術創造プロジェクト KAAT×地点「山山」	2018年6月6日～16日	KAAT×地点「山山」 出演：地点	目標値	980
		芸術劇場 中スタジオ		実績値	1,190
19	II 同時代の芸術創造プロジェクト 「オイディプス REXXX」	2018年12月12日～24日	「オイディプス REXXX」 演出：杉原邦生 出演：中村橋之助、南果歩、宮崎吐夢	目標値	1,400
		芸術劇場 大スタジオ		実績値	2,454
20	III 国際文化交流プロジェクト KAAT ダンスシリーズ 2018 バレエ・ロレーヌ トリプルビル	2018年9月16日～17日	KAAT ダンスシリーズ 2018 バレエ・ロレーヌ公演 出演：バレエ・ロレーヌ	目標値	700
		芸術劇場 ホール		実績値	1,329
21	III 国際文化交流プロジェクト KAAT ダンスシリーズ 2018 Mathurin Bolze ダブルビル	2018年9月22日～24日	KAAT ダンスシリーズ 2018 マチュラン・ボルズ公演 出演：Mathurin Bolze	目標値	210
		芸術劇場 大スタジオ		実績値	448
22	III 国際文化交流プロジェクト KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース『出口なし』	2019年1月25日～2月3日	「出口なし」 構成・演出：白井晃 出演：首藤康之、中村恩恵、秋山菜津子、白井晃	目標値	1,100
		芸術劇場 中スタジオ		実績値	1,293
23	III 国際文化交流プロジェクト 国際舞台芸術ミーティング in 横浜 (TPAM in Yokohama)	2019年2月9日～17日	ホセ・マセダ「カセット 100」「5台のピアノのための音楽/2台のピアノと4本の管楽器」イルワン・アーメット「暴力の星座」他	目標値	2,000
		芸術劇場 他		実績値	2,919
24	IV 専門人材養成プロジェクト 劇場人材能力開発プロジェクト 劇場運営マネジメント プロフェッショナル人材養成講座	2018年7月～2019年3月	シリーズ「これからのインクルーシブ社会と公立文化施設の取り組み」/シリーズ「基本を学びなおす」	目標値	80
		県民ホール他		実績値	92
25	IV 専門人材養成プロジェクト インターン 公演制作（音楽、演劇）、舞台技術	2018年9月～2019年3月	・公演制作（音楽） ・公演制作（演劇） ・舞台技術	目標値	15
		県民ホール・芸術劇場		実績値	12

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
26	Ⅳ専門人材養成プロジェクト 新しい才能の発掘育成プロジェクト プロフェッショナルアーティスト養成事業	2018年5月～2019年3月	・若手ダンサー育成プログラム ジュヌババレエ YOKOHAMA ・若手演奏家推薦プログラム ・オーディション事業	目標値	40
		県民ホール他		実績値	26
27	Ⅳ専門人材養成プロジェクト 演劇人養成プログラム	2019年3月	演劇人養成プログラム	目標値	5
		芸術劇場		実績値	1
28	Ⅳ専門人材養成プロジェクト 大学等との連携(東京藝術大学、洗足学園音楽大学他)	2018年5月～2019年2月	講師:荻野由美子	目標値	10
		県民ホール 小ホール		実績値	1
29	Ⅳ専門人材養成プロジェクト 大学との連携 (横浜国立大学)	2018年11月～2019年2月	講師:清水宏、安藤洋子、吉井澄雄 他	目標値	30
		芸術劇場、横浜国立大学		実績値	58
30	Ⅳ専門人材養成プロジェクト 大学等との連携(昭和音楽大学:正規カリキュラムの寄付講座)	2018年11月～2019年1月	講師:県民ホール・芸術劇場職員	目標値	5
		昭和音楽大学、県民ホール、芸術劇場		実績値	20
31	Ⅳ専門人材養成プロジェクト 劇場間人材交流事業	2018年12月～2019年2月	まつもと市民芸術館スタッフ	目標値	1
		芸術劇場		実績値	1
32	Ⅴ地域文化振興調査研究プロジェクト 神奈川県立文化施設(県民ホール、KAA T)活性化計画プログラム	2018年5月～10月	有識者研究会の開催	目標値	20
		県民ホール 他		実績値	110

## 2. 自己評価

### (1) 妥当性 (平成30～令和2年度 3か年分)

#### 自己評価

事業計画に必要な構成要素が有機的に関連し、当初の予定通りに事業が実施できたか。

「アウトカム」の発現に向けた「目標」を立て、その「目標」を達成するアクションプランとして「プロジェクト」を配置した。

#### (1) 本事業計画が発現させたい5つの「アウトカム」

- |                   |               |
|-------------------|---------------|
| I 多様性が育む共生社会の実現   | IV 国際文化交流の推進  |
| II 多様な文化芸術体験拡大の実現 | V 実演芸術振興の基盤強化 |
| III 実演芸術の水準向上（振興） |               |

#### (2) 「アウトカム」を発現させるための8つの「目標」と5つの「プロジェクト」との関係性

※1：「アウトカム」と「目標」の関係は◎で示したが、○=Iのアウトカムは、IIからVのアウトカムが総合的に達成されることにより実現される。

※2：「◎寄付を通じた支援の拡大」は、劇場の個別プロジェクトが達成するのではなく、劇場運営者の法人が達成すべきこととして整理している。

※3：3年間においてこの関連に齟齬が生じることはなく、当初の計画通りに進めることができた。

アウトカムの発現との関係性 ※1					目標		目標を達成するためのプロジェクト
I	II	III	IV	V			
○	◎			◎	①良質な文化芸術体験の幅広い提供	←	(1) 観客創造プロジェクト
○	◎	◎		◎	②創造したコンテンツのネットワーク展開		
○		◎			③新しい芸術表現の拡張	←	(2) 同時代の芸術創造プロジェクト
○			◎		④国際的な制作者・技術者ネットワークの構築	←	(3) 国際文化交流プロジェクト
○			◎		⑤海外との水準の高い協働		
○	◎			◎	⑥実践的な専門人材の養成	←	(4) 専門人材養成プロジェクト
○				◎	⑦設置者（県）への政策提言	←	(5) 地域文化振興調査研究プロジェクト
○				◎	⑧寄付を通じた支援の拡大	※2	

助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。

#### ○基本姿勢

・本事業計画における趣旨、目的は「劇場法が要請する劇場・音楽堂等の社会的役割（ミッション）を神奈川県立県民ホールが神奈川県内の広域拠点として担い、その役割を果たすために5つのアウトカムを掲げ、強い推進力を持つ総合的な事業計画を策定する」「本館と芸術劇場という専門施設 2 館が有する幅広い劇場機能（専門人材から最新機構等まで）を有効に活用しながら、神奈川オリジナルの企画・手法・事業などを通して、アウトカム実現に向けたプロジェクトを実施していく」の2点であった。

・事業計画の達成に当たり、県からの指定管理料のみを原資とした場合、従来型の県域文化施設としての基本活動を行うことはできるものの、県域を越えた「広域拠点」としての役割を果たすことは困難であった。本助成により、広域的な巡回公演や他劇場との人材交流などの県境を越えた波及活動を充実させることや、芸術表現を追求する新作創造などに資金を充当することができた。特に、創造活動や先進的な活動には「時間」「人材」「資金」が必要であり、助成がなければそれらの拡充は望めなかった。

・また、劇場をとりまく外部環境は変化し続けるため（社会課題への対応、映像技術の進化、オリパラ文化プログラム、感染症のパンデミックなど）、優れたコンテンツ（公演、人材養成、普及等のプログラム）や新しい鑑賞手法を追求し続ける必要があり、そのためにも継続的な助成により、一定の効果をあげることができた。

・一方で令和2年の年明けから始まった新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度終盤から令和2年度に予定していた事業の一部が中止を余儀なくされた。また感染対策として、稽古場の人数制限、客席収容人数の制限をはじめ、公演を実施する上でも様々な制約が生じ、当初計画していた規模や内容での実施が難しい事業もあった。その中で、従来の公演形態を代替、あるいは補完する方法として、本助成を得て緊急措置的に取り入れたオンライン配信は、物理的に劇場を訪れることが難しい観客層に対して、新たな方策としての可能性を提示し、このような時期だからこそその芸術文化の発信方法として、文化的意義を見出すことができた。劇場としてあくまで観客を入れて公演実施を目指しつつも、オンラインを含めた新たな手法について、代替手段もしくは補完手段として、今後も積極的に取り入れていきたい。

#### <新型コロナウイルスの影響と事業計画に関する取組み>

・令和2年年明けからの新型コロナウイルス感染症感染拡大が見られ、設置者である神奈川県より令和2年4月～8月にかけて劇場を閉館することの要請を受けたため、この間の劇場の自主事業はすべて中止または延期とした。その間、芸術文化活動は不要不急か、という議論も多く見られたが、県民ホール（本館／芸術劇場）では、まず劇場・音楽堂が安心・安全な場所であることを一般の方に知って頂くこと、そして配信等の代替手段を取り入れながらも、やはり、「生」の舞台芸術を発信し続けることを最大の目標として活動を続けた。

・上半期の公演の多くが中止や延期となった中で、舞台芸術に関わる多くのスタッフ、俳優、アーティスト達が急に職を失い、収入が絶たれるという事態も発生した。公共の劇場として、公演が中止になった場合でも、その時点までの業務に応じて委託費や出演料を支払うべく、他の公共・民間の劇場・音楽堂とも情報共有しながら、制度を整えた。本助成において、中止公演の経費についても助成対象経費として認められたことは、芸術文化活動に携わるスタッフ・アーティストがコロナ禍にあっても継続して創造的な活動を行える環境を保持することにつながり、これは本事業が目標とするアウトカムの発現の力強い後押しになったと考える。

・しかしながら、時期によって、あるいは各自治体や主催者の考え方にも大きな差があり、同時期にあってもツアーが出来る地域、中止となる地域等、対応は様々であった。特に演劇公演においてツアーを組むに当たっては、効率的に日程・会場を設定しているが、1か所が中止になると、公演料収入が得られないだけでなく、想定外の積み下ろし経費や倉庫代といった追加経費がかかる可能性があること、また、スタッフ・出演者等のスケジュール確保においても難しくなることが予想される。芸術劇場では神奈川県はもとより関東圏の拠点劇場として、作品を創造し、ツアー公演も積極的に実施することで、良質な作品を神奈川県や関東圏以外でも鑑賞できる機会を提供することに力を入れてきたが、今後ツアー公演を予定しにくくなり、結果として舞台芸術の鑑賞機会の地域間格差が拡大することが懸念される。こういった課題に対し、感染状況を見つつ、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えてどのような取り組みを行っていくかが今後の課題である。

#### ○新作創造や独自招聘などの成果の例ー地域の拠点施設としての使命（創作演目）

・平成30年度分

芸術監督プロジェクト「Memory of Zero」、みんなでのしむオペラ「ヘンゼルとグレーテル」、「上野水香プロデュースバレエ Jewels from MIZUKA II」、「バリーターク」、「華氏451度」、「グッド・デス・バイブレーション考」、地点「山山」、北村明子 Cross Transit project「土の脈」、「セールスマンの死」、「Is it worth to save us?」、さわひらき×島地保武「silts-シルツ」、オイディプス REXXX、冬のカーニバル「Mann ist Mann（マン・イスト・マン）」、木ノ下歌舞伎「糸井版 摂州合邦辻」、「WAITING FOR THE SIGNAL!（信号待ち!）」、「グレーテルとヘンゼル」（共同制作含む）

・平成31年度分

一柳慧プロデュース「フラックス弦楽四重奏団」、「やなぎみわ展 神話機械」、「みんなでたのしむオペラ『ヘンゼルとグレーテル』」 県域再演、「春のめざめ」再演、「恐るべき子供たち」、「怪人と探偵」、「アルトウロ・ウイの興隆」、「Naked Theatre -裸の劇場-」、「シベリアへ！シベリアへ！シベリアへ！」、「ゴドーを待ちながら」、「ビビを見た！」、頭と口×Defracto「妖怪ケマメ」、「ドクター・ホフマンのサナトリウム ～カフカ第4の長編～」、「グリークス」、「常陸坊海尊」、「NIPPON・CHA!CHA!CHA!」、キッズプログラム「グレーテルとヘンゼル」再演、キッズプログラム「二分間の冒険」、「VORTEX」、「ワーニャ伯父さん」、「最貧前線」（共同制作含む）

・令和2年度分

「一柳慧芸術総監督就任20周年記念プロジェクト 東京フィルハーモニー交響楽団演奏会」「アーリントン」「メトロポリス伴奏付上映会」「富安由真展 | 漂泊する幻影」「『未練の幽霊と怪物』の上演の幽霊」「銀河鉄道の夜 2020」「君の庭」「人類史」「星の王子さまーサン＝テグジュペリからの手紙ー」「Knife」KAAT×東京デスロック「外地の三人姉妹」「セールスマンの死」「子午線の祀り」（共同制作含む）

## (2) 有効性 (平成30～令和2年度 3か年分)

### 自己評価

目標を達成し、アウトカムが発現したか。

#### ○目標とその進捗について

「アウトカム」を発現させるため、以下①から⑥まで8つの「目標」を置き、その目標達成を助成対象事業（5つのプロジェクト）で達成することとした。その目標達成の進捗を以下の指標で確認した。

#### ①良質な文化芸術体験の幅広い提供

指標 a：英語版ホームページの年間ページビュー数

指標 b：子ども向けチケット販売数

平成30年度および31年度は目標を達成した。

令和2年度は a、b とともに目標は達成できなかった。新型コロナウイルスの影響により、「オープンシアター」「キッズプログラム」といった外国人や子供を対象とした公演の多くが中止となったことにより、いずれも数値は大きく減少に転じた。一方、中止となった子供向け公演では、関連した企画をオンラインにより配信する等により、公演に行けなくても文化芸術を体験する機会の確保に努めた。

#### ②創造したコンテンツのネットワーク展開

指標 c：当劇場で創造した演目が他の劇場・音楽堂等で上演された演目数

平成30年度および31年度は目標を達成した。

令和2年度は、計画の段階では目標を満たす演目数を予定していたが、新型コロナウイルスの影響による中止となった公演があり、目標の演目数を満たすことができなかった。

#### ③新しい芸術表現の拡張

指標 d：芸術監督が主導して実施したプログラム数

平成30年度および31年度ともに目標を達成した。

令和2年度もプログラム数は目標を達成したが、5年間の集大成として予定していた一柳、白井の両芸術監督によるプロジェクト（オペラ「モモ」）は新型コロナウイルスの影響により中止（時期未定延期）となった。

#### ④国際的な制作者・技術者ネットワークの構築

指標 e：国際舞台芸術ミーティング in 横浜（TPAM）の参加国数及び海外参加者数

平成30年度・31年度ともに目標を達成した。

令和2年度は新型コロナウイルスの影響による入国制限措置もあり、来日による参加が極めて困難となったためオンライン配信を取り入れた。目標数には満たなかったが、オンラインによる海外参加が多くあり、コロナ禍においても国際的ネットワークの構築に繋げることができた。

#### ⑤海外との水準の高い協働

指標 f：海外の劇場・実演団体等との国際共同制作及び直接招聘の演目数

平成30年度および31年度ともに目標を達成した。

令和2年度は毎年夏に実施している青少年向け海外コンテンツの招聘時期とオリンピックの開催時期が重なり、渡航や宿泊手配の困難が予測されたため、計画段階で招聘を見合わせたほか、新型コロナウイルスによる影響も受け、目標の演目数を満たすことができなかった。

#### ⑥実践的な専門人材の養成

指標 g：新人・若手実演家の登用人数（3年間の合計）

指標 h：若手中堅クリエイターとの協働による作品づくりの件数

g は3年間の合計においてわずかに目標に届かなかった。3年目（令和2年度）は新型コロナウイルスの影響により、予定していたプロフェッショナルアーティスト養成事業の一部を中止したことが大きく、計画上は目標を達成する予定であった。

hについては、3年間において目標を達成した。

指標 i：他劇場等からの職員研修受入（1ヶ月以上）

3年間において目標を達成することができなかった。

共同制作に従事する長期的な制作上の交流等はあったものの、1ヶ月以上の長期研修受入という枠については、

他劇場と調整をつけることが難しく、各年度ともに未達成となった。

令和2年度においては新型コロナウイルスの影響により、人的交流を行うことは双方自治体の方針や社会的状況から困難であり、予定していた受入は中止とした。

研修期間の長短は、研修へ送り出す劇場側の事情にもよるため、結果として1ヶ月という指標設定にはやや無理があったと考えられる。特に今後は新型コロナウイルスの影響により、長期的な人材交流はより課題が増えることが予想されるため、柔軟な期間設定、受入体制をとっていきたい。

#### ⑦設置者（県）への政策提言

指標 j：県への提言文書提出数

3年間に於いて目標を達成した。

平成30年度は県の文化振興計画の改定に際して、地域の芸術団体等とも連携を図り、提言を提出した。

平成31年度は県の指定管理者制度について大規模文化施設の現指定管理者という立場から、現状を踏まえた提言を提出した。

令和2年度は「神奈川県立県民ホール（本館、KAAT 神奈川芸術劇場）活性化計画プログラム（行動案）」の成果を報告書として取りまとめ、県へ提案した。

#### ⑧寄付を通じた支援の拡大

指標 k：寄付者数及びその寄付金額

3年間に於いて目標を達成できなかった。

- ・クレジットカード決済による個人寄付の仕組みを導入するなど環境整備に努め、実際に少額の個人寄付は年々増加する傾向にあるが、金額・寄付者数ともに目標に到達しなかった。
- ・特に令和2年度は新型コロナウイルスの影響を大きく受け、事業計画そのものが縮小したことから、従来のような寄付促進活動や営業活動ができず、またこれまで継続して支援して頂いた寄付者が、経済的事情により支援を見送るケースもあり、減少に転じた。
- ・社会情勢的に、今後の寄付活動の拡大には様々な課題があるが、一方で令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるチケットの払い戻し分をご寄付いただく制度を導入し、41件の寄付があった。

#### ○アウトカムの発現について

以上の目標及びその指標の3年間の達成状況を踏まえ、アウトカムの発現については以下のように考える。

##### I 多様性が育む共生社会の実現

以下Ⅱ～Ⅴのアウトカムが総合的に達成されることにより、Iのアウトカムが発現することとしており、以下記述の通り、Ⅱ～Ⅴのアウトカムは発現したと判断しているため、このアウトカムは発現したと考える。年齢や国籍、障がいに関係なく多様な人々に文化芸術を届けること、それらの文化芸術を高水準で実施すること、国際交流を意識すること、そしてそれらを実施する人的経営的基盤を維持すること、これらを総合的に実践したアウトカムの発現により、「神奈川県芸術文化創造総合センター推進事業」は一定の水準を以って推進されたと考える。

##### Ⅱ 多様な文化芸術体験拡大の実現

対応する目標：①良質な文化芸術体験の幅広い提供、②創造したコンテンツのネットワーク展開、⑥実践的な専門人材の養成

①、②ともに新型コロナウイルスの影響を除いた場合、概ね目標とした指標を達成しており、演劇、音楽、舞踊をはじめ様々なジャンルの公演を実施したほか、オープンシアター、キッズプログラム、地域巡回公演や全国ツアー等、障がいや言語、子ども、地域・広域に焦点を当てたコンテンツもシリーズとして定着している。⑥の他劇場からの研修受入は期間において再考の余地があるものの、文化芸術活動を担うアーティストや制作者の人材養成や人材交流も一定の割合で進んでおり、以上のことからアウトカムは発現したと考える。

##### Ⅲ 実演芸術の水準向上（振興）

対応する目標：②創造したコンテンツのネットワーク展開、③新しい芸術表現の拡張

②、③ともに新型コロナウイルスの影響を除いた場合、概ね目標とした指標を達成しており、県民ホール、芸術劇場の両芸術監督の主導した公演は年4演目以上を維持しており、いずれも意欲的かつ先進的な内容に挑んでいる。また、劇場の制作したオペラ、演劇等のオリジナルコンテンツが、巡回公演、地域連携公演、企画制作

公演として神奈川県内に留まらず広域に進出しており、以上のことからアウトカムは発現したと考える。

#### IV 国際文化交流の推進

対応する目標：④国際的な制作者・技術者ネットワークの構築、⑤海外との水準の高い協働

④、⑤ともに新型コロナウイルスやオリンピック開催に伴う環境要因の影響を除いた場合、概ね目標とした指標を達成しており、国際舞台芸術ミーティング in 横浜（TPAM）においては、演劇公演の上演に留まらず、制作者・技術者の多角的なディスカッションに参画し、幅広い国際交流を推進したほか、芸術劇場のキッズプログラムでは、海外各国の良質な演劇コンテンツを独自招聘し、子どもたちに感動を与えた。以上のことからアウトカムは発現したと考える。

#### V 実演芸術振興の基盤強化

対応する目標：①良質な文化芸術体験の幅広い提供、②創造したコンテンツのネットワーク展開、⑥実践的な専門人材の養成、⑦設置者（県）への政策提言、⑧寄付を通じた支援の拡大

①～⑧を総合的に捉え、概ね目標とした指標を達成したと判断する。良質で多様な公演の実施と県域での事業展開はもとより、そのノウハウを人材養成事業、大学連携等を通じて共有することにより、当劇場、他劇場それぞれの専門人材のスキルアップにもつながった。これらの活動を県の文化振興計画に則った指定管理業務として実施していることにより、県との価値観、課題認識等も有機的に行われている。寄付による支援者の拡大には、より一層取り組む必要があり、今後に課題を残しているが、総合的にはアウトカムは発現したと考える。

### (3) 効率性 (平成30～令和2年度 3か年分)

#### 自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに実施できたか。  
アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに実施できたか。

#### (1) 事業期間

本事業の応募時点で、既採択であった劇場・音楽堂等活性化事業（特別支援）の採択期間との整合に鑑み、平成30年度からの3か年の事業計画として計画工程表を作成した。  
その中におけるアウトプットである、5つのプロジェクトについて整理する。

#### I. 観客創造プロジェクト

3年間に於いて当初の計画通りに実施できたと考える。

県民ホールでは、良質なオーケストラ公演が気軽に楽しめる「ファンタスティック・ガラコンサート」、ジャンルや楽器の組み合わせにより、様々な切り口からパイプオルガンの魅力を届けた「オルガンリサイタル/オルガンクリスマスコンサート」、国内トップバレエ団によるバレエ公演等、質の高い公演を幅広い層に提供した。また「オープンシアター」では障がいを持った方のため車椅子案内や手話通訳の配置、外国人のための通訳スタッフ等、様々な方が劇場を楽しんでいただくための取組みを行ったほか、「オルガン・プロムナード・コンサート」ではランチタイムに無料でオルガン公演を実施する等、鑑賞者の裾野の拡大に努めた。オペラ「ヘンゼルとグレーテル」の巡回公演、オルガン他館連携公演等、県域にも幅を広げ、県域拠点として良質な公演を届けることができた。

芸術劇場では、白井晃芸術監督のもと、串田和美氏、長塚圭史（平成31年度よりKAAT 神奈川芸術劇場芸術参与）、森山開次氏、松井周氏、といった演劇・舞踊界の第一線で活躍する演出家・振付家との作品の創作や、KAAT 開館以来継続しているKAAT キッズプログラム、海外からの親子向けの良質な演劇作品の招聘等を通じて、様々な観客層に向けて、多様な舞台芸術作品を提供することが出来た。また、1階のアトリウムでは、白井芸術監督による音楽家の演奏とトークを楽しむことが出来る無料イベント「SHIRAI's CAFE」を定期的開催し、演劇ファン以外にも気軽に劇場に足を運んで頂き、劇場の認知度を高めることを目的とした事業を実施した。

#### II. 同時代の芸術創造プロジェクト

3年間に於いて概ね当初の計画通り実施できたと考える。

県民ホールでは一柳芸術総監督プロデュースによる現代音楽の室内楽公演「フラックス弦楽四重奏団」では、室内楽の演奏会のみにとどまらず、応募者とともにリアルタイムに作品創造をしていくワークインプログレス、その過程を公開リハーサルにする等、先進的な芸術創造の取組みを行った。また一柳慧芸術総監督就任20周年記念東京フィルハーモニー交響楽団演奏会では、一柳作曲の現代音楽がトップアーティストによって演奏され、同時代の音楽、演奏による創造性の高い公演となった。

プロジェクトの核となる「芸術監督プロジェクト」では、一柳、白井の両芸術監督が主導した“ダンス×音楽”公演「Memory of Zero」を実施し、トップレベルで活躍するスタッフによる芸術表現が実現した。一方で、芸術監督プロジェクトの集大成として実施予定だった、オペラ「モモ」については、新型コロナウイルスの影響により令和2年度実施予定の公演を中止とし、令和3年度以降への延期とした。

芸術劇場では、白井芸術監督が就任依頼取り組んできた“近現代戯曲を現代に蘇らせる”シリーズとして、芸術監督自身の演出、あるいは、他の演出家に委嘱し、上演機会の少ない名作戯曲の掘り起こしや、小説の戯曲化等を行ってきた。また、谷賢一氏、多田淳之介氏、杉原邦生氏といった若手演出家との継続的な作品創りや、地点、サンプルといった劇団との共同制作では、KAATの舞台技術スタッフも積極的に創作過程に参加し、KAATの空間の特性を最大限に活かした作品創りを行った。

令和元年度末から令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、公演を実施する上でも様々な制約が生じ、当初計画していた規模や内容での実施が難しい事業もあった。また、コロナ禍で観客側にも外出自粛が求められ、劇場・音楽堂を訪れることが難しい状況になったが、緊急措置として取り入れたオンライン配信は、入場制限下の芸術鑑賞機会の提供の新たな方法として、今後も積極的に取り組んでいきたい。

#### III. 国際文化交流プロジェクト

3年間に於いて概ね当初の計画通り実施できたと考える。

国際舞台芸術ミーティング in 横浜 (TPAM in Yokohama) では、横浜市内の各文化施設を利用し、舞台芸術の実験精神と都市のクリエイティビティを融合させ、質の高いコンテンポラリー・パフォーマンス・アーツの情報交換やプレゼンテーション、公演が実施された。芸術劇場は海外アーティスト側との技術的なやりとり等の窓口となり、技術支援として全面的にバックアップを行ったほか、芸術劇場主催公演としても、毎回海外から

の招聘公演を数公演実施し、多くの海外演劇・劇場関係者との国際交流およびディスカッションの場として機能した。令和2年度においては入国制限措置もあり、通常通りの開催が困難となる中、オンライン配信を取り入れ海外と繋がり、コロナ禍においても最大限の国際色を保つことが出来た。

他のプロジェクトにおいても、芸術劇場のキッズプログラムでは「ルー」(スペイン)、「NEW OWNER」(オーストラリア)等、海外の演劇コンテンツを独自招聘したほか、横浜ダンスフェスティバルと共同でバレエ・ロレーヌ、マチュラン・ボルズ等の海外ダンスカンパニーによる公演を上演する等、国際性豊かなプログラムが実現した。

#### IV. 専門人材養成プロジェクト

3年間に於いて当初の計画通りに実施できたと考える。

県民ホールでは「プロフェッショナルアーティスト養成事業」によるアーティスト養成、「インターンシップ(音楽)」によるアートマネジメント人材養成、「劇場運営マネジメント プロフェッショナル人材養成」において、文化施設職員によるスキルアップ専門人材養成、大学連携による学生の専門能力養成等、幅広いターゲットに向けての人材育成事業を実施し、実践的な手法や実践機会の提供により、専門人材の養成を行った。

芸術劇場では、舞台技術の分野を中心に他劇場のから研修生を受け入れ、公演現場での実践的な研修を実施したほか、大学連携により演劇分野に関する様々な専門家と多角的に議論を深める講座を実施した。

#### V. 地域文化振興調査研究プロジェクト

3年間に於いて当初の計画通り実施できたと考える。

地域活性化やアーツカウンシル、法令等を専門とする有識者勉強会を、県とも連携しながら実施し、神奈川県の実施する受託事業等のスキームづくりに貢献した他、当劇場においても県域の拠点施設としての理念、ミッションを再確認する場としてプロジェクトチームを作り、地域文化振興に向けてのビジョンを作成した。

以上により、3年間の事業期間においてアウトプットは計画工程表の通りに進み、効果を高めることができたと考える。

#### (2) 事業費(助成対象事業の支出)

平成30年度

当初 支出 375,309千円、決算 支出 314,857千円、予算決算差異 60,452千円(16.1%)

主な変動の要因として、文芸費等の増、委託費の減があった。

委託費の減の理由は、主に経費節減の努力(※)による。

※価格競争を重視した調達手法による縮減効果や、好調なチケット販売に起因する広告宣伝費の減など

平成31年度

当初 支出 348,404千円、決算 支出 411,044千円、予算決算差異 62,640千円(18.0%)

主な変動の要因として、製作作業を進めていくなかで、「アルトウロ・ウイの興隆」が当初計画を上回る事業規模・回数となるなどがあり、大きな委託費の増があった。他方、入場料等収入の増もあった。

ほかに、文芸費等の減、会場費等の増、宣伝費等の減など。

令和2年度

当初 支出 200,509千円、決算 支出 200,475千円 ※当初予算から30%以上の差額が出たため、事業計画の変更申請を行った。

主な変動の要因は新型コロナウイルスの影響によるものであり、県の依頼による施設閉館、その他関係団体との調整により5事業が中止、その他の事業でも一部中止、内容変更、規模の縮小等が生じたため、すべての費目にわたり大幅な減となった。

#### (3) 評価

・平成30年度、平成31年度については、事業計画は工程表通り適切に進捗してきたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、4月~8月にかけて臨時休館となり、5事業が中止、その他の事業でも一部中止、内容変更、規模の縮小等を余儀なくされ、事業計画の変更をせざるを得なかった。そのような状況下においても、舞台芸術の創造活動の継続を目標に、感染対策の徹底やオンライン配信の導入をはじめ、様々

な取り組みを行った。客席の収容人数の制限により、事業収入の大きな割合を占めるチケット収入も大幅に減少したが、事業規模の見直しや支出の抑制を行うとともに、他の助成金・補助金等も積極的に活用し、財政的な安定の確保に努めた。

- ・新型コロナウイルスの影響以外でも、個別事業（特に演劇分野）の一部において、事業期間や収支計画に変更が生じたものがあった。これは創造の過程において、計画の見直しや演出プランの確定により事業規模や同一事業内での経費配分の変更等が主な要因であったが、当初計画の趣旨に齟齬が生じることなく、事業実施の効果が最大限に高まるよう取り組んだ。

- ・事業費は経費節減に努めるとともに、公益法人の会計ルールに則って適正に執行されている。

- ・当財団は地方公共団体が100%出資する第3セクターであり、その行政管理の考え方のもと県に準じた透明性の高い基準で運営され、かつ公益法人としての会計基準等に従って運営されている。そのような性格を有する法人による劇場運営のもと、当初の計画に沿って、またコロナの影響等によりやむを得ない変更が生じた場合には必要に応じた手続きのもと計画を変更し、事業を遂行している。

#### (4) 創造性 (平成30～令和2年度 3か年分)

##### 自己評価

事業計画の内容が、獨創性、新規性、先導性等に優れている(と認められる)か。

##### (1) 専門人材と機能のリソース

当劇場が創造性の発揮を可能とする人材面のリソースとして、芸術監督の存在がある。財団の芸術総監督として日本を代表する作曲家である一柳慧(2018年文化勲章受章)、また芸術劇場では演出家・俳優として第一線で活躍する白井晃が芸術監督をつとめ、さらに、平成31年度からは、音楽学者の沼野雄司が県民ホール、音楽堂の芸術参与、そして、演出家・劇作家である長塚圭史がKAAT芸術参与に就任し、両芸術監督を補佐している。(白井芸術監督は、令和2年度をもって任期満了により退任、令和3年度より長塚圭史が芸術監督に就任した。)時代をリードするトップアーティストでもある両芸術監督と芸術参与の知見の下、創造性を発揮した事業群を展開している。

また、創作活動を技術面から統括する専門家である技術監督やプロダクション・マネージャーをはじめ、専門性の高い技術スタッフが職員として劇場に常駐するほか、設備面では自由度の高い舞台機構や客席設備を始め、稽古場、音響・大道具製作室等、アーティストやクリエイターの創作をサポートする環境が整っている。これらの専門人材と機能のリソースを最大限に活用した企画を、県民ホールと芸術劇場の双方の施設の特性を活かした事業として計画立案し、順調に実施することができた。

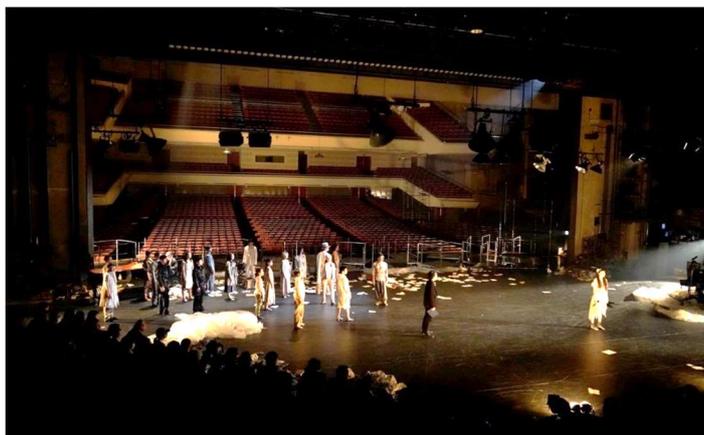
##### (2) 事業の創造性

公演事業では、平成28年度より実施してきた“芸術監督プロジェクト”として、30年度には“ダンス×音楽”をテーマに「Memory of Zero」を創作し初演した。一柳慧の音楽、白井晃の構成・演出、振付に遠藤康行、主演に小池ミモザ、演奏に板倉康明指揮の東京シンフォニエッタという世界的に活躍するスタッフ・出演者が、果敢に先進的な芸術表現に挑む上演となった。

その他、30年度は県民ホールと芸術劇場において、10作品以上の創作初演や新演出を実施するなど、年間を通じて様々な創造活動を行った。

ついで平成31年度は、オペラ「モモ」(一柳慧作曲、白井晃演出)の令和2年度上演(令和3年3月)に向けての制作準備作業を行った。一柳慧と白井晃は「愛の白夜」(県民ホールで平成18年、21年に上演)に次いでオペラでの共演は2回目となる予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、令和2年度の上演は中止となった。オーケストラ、歌手、ダンサー、合唱等、多くの出演者が必要となる大型のオペラ公演を、コロナ禍で実現することは、感染リスクだけでなく、経済的なリスクも大きく、上演が難しいという判断となった。

令和2年度は、県民ホールでは当財団の一柳慧芸術総監督就任20周年記念と銘打ち、一柳の管弦楽作品を東京フィルハーモニー交響楽団(指揮:鈴木優人)の演奏により届ける「共鳴空間(レゾナントスペース)」を実施した。この公演は、現代音楽のみならず音楽表現の根源を問い直し、未来を見据え新たな芸術表現を創造し続ける一柳慧の音楽作品と、実力を兼ね揃えた出演者陣の演奏により、観客の満足度も高く、創造性の高い公演となった。芸術劇場では、上半期に予定していた公演がほとんど中止または延期となる中で、岡田利規演出「未練の幽霊と怪物」は当初予定していた公演日程での上演は中止したが、リモート稽古を経て、



「Memory of Zero」2019年3月 県民ホール

「『未練の幽霊と怪物』の上演の幽霊」を映像作品として制作し、6月末にオンライン配信により上演した。劇場公演の代替手段としてのオンライン配信ではなく、あくまで、オンライン配信を行うための映像作品を制作したという点で、他では見られない試みであった。また、KAATの開館以来、毎年継続して作品を共同製作している地点とは、松原俊太郎氏の書下ろし作品「君の庭」を上演。コロナ禍で企画を進める中で、劇場版、オンライン版の2種類の作品、しかも相互補完的な役割を持つ作品を制作する、という新たな試みを実施、オンライン版では劇場に来ることが難しいお客様にも鑑賞機会を提供することが出来、さらにオンライン版と劇場版を見比べる、というこれまでにない舞台芸術作品の楽しみ方を提示することもできた。

また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、入国制限措置が取られ、谷賢一演出「人類史」で予定していたイスラエル在住の振付家エラ・ホチルド氏の来日が叶わなかったが、オンラインで稽古に参加する形を

取り、制約はありながらも演出家の希望を実現することが出来た。エラ氏の振付による身体表現は、志磨遼平（ドレスコース）作曲の音楽、演出家・谷賢一の言葉と見事に融合し、“人類の200万年の歴史をダイナミックに駆け抜ける”という本作の演出プランを可能にした。12月に上演した小野寺修二による新作「Knife」においても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で多くの海外招聘公演やアーティストの招聘が中止となる中、来日・帰国時の一時隔離に必要となる経費が助成金の対象となったことで、フランス、台湾、ベトナムからそれぞれダンサーを招聘することが可能となり、演出家が当初から希望していた多国籍のダンス集団によるノンバーバル作品の創作を実現することが出来た。

人材養成事業においては、平成28年度より「劇場運営マネジメント プロフェッショナル人材養成講座」をスタートし、県内外の文化施設スタッフ等を対象に、社会課題を先取りするテーマの講座を実施している。特に施設のバリアフリーの諸課題に特化した講座シリーズは、受講者の期待度が高い。

KAAT 舞台技術課が中心となって実施している舞台技術講座では、全国の劇場・音楽堂の舞台技術の現場で働くスタッフを対象とした実践的な研修を実施しており、神奈川県のカンパニー劇場として、人材養成において重要な役割を担っている。

普及啓発事業においては、鑑賞者拡大のための集客力のある公演事業の他に、「音で観るダンスのワークインプログレス」（視覚障害者に音声でダンスを鑑賞するツールを開発することを契機に、健常者もダンスを新しい観点から鑑賞することを提唱する手法の研究開発）や、「視覚言語がつくる演劇のことば」（アクセシビリティの観点をクリエイティブに取り込んで作品を制作することを目標としたプロジェクト）を実施するなど、先進性の高い取組みも行っている。

## 自己評価

事業の実施によって、当該劇場・音楽堂等の国内外での評価の向上につなげた（と認められる）か。

### （１）国内での評価

#### 【作品の受賞歴】

前述の「Memory of Zero」についてはマスメディアの注目も高く様々な露出があったほか、劇団地点との共同制作「山山」では松原俊太郎氏による新作戯曲が岸田國士戯曲賞を、「オイディプス REXXX」では作詞・ラップ指導の板橋駿谷が読売演劇大賞（優秀スタッフ賞）を受賞するなど、社会的な評価も獲得した。

令和２年１月に上演した白井晃芸術監督（当時）演出「アルトゥロ・ウイの興隆」の照明を手がけた照明デザイナー・齋藤茂男氏が、同作他の照明にて、第２８回読売演劇大賞最優秀スタッフ賞を受賞した。

前述した令和２（２０２０）年６月に映像作品としてオンライン上演を実施した「『未練の幽霊と怪物』の上演の幽霊」の完成した戯曲を納めた岡田利規氏の戯曲集「未練の幽霊と怪物」が、第７２回読売文学賞（戯曲・シナリオ賞）を受賞した。

平成３０年度に実施した「セールスマンの死」は、令和２年１２月にKAATで再演され（令和２年度の再演時は本助成金では対象外。ツアー公演に関しては、劇場・音楽堂等間ネットワーク支援事業対象）、主演の風間杜夫氏がウイリー・ローマン役他で第４６回菊田一夫演劇賞の大賞を受賞した。（令和３年４月発表）

#### 【国内の劇場からの招聘実績】

他地域の劇場との関係として、芸術劇場のプロデュース作品は国内各地からの上演要請が多くあり、３０年度は「不思議の国のアリス」（劇場・音楽堂等間ネットワーク強化事業）の他、「華氏４５１度」「セールスマンの死」等がツアー公演を実現した。

３１年度は「グレーテルとヘンゼル」「常陸坊海尊」（劇場・音楽堂等間ネットワーク強化事業）の他、「春のめざめ」「怪人と探偵」「ドクター・ホフマンのサナトリウム～カフカ第４の長編～」等がツアー公演を実現した。これらのことなどにより、当劇場の創造性は社会に広く訴求できたと考えている。

令和２年度は、「星の王子さま—サン＝テグジュペリからの手紙—」「セールスマンの死」でツアー公演を実施。（「セールスマンの死」については、厚木公演、岩手公演、松本公演の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、厚木公演、岩手公演が公演中止となった。劇場・音楽堂等間ネットワーク支援事業対象）また、本公演が中止となった「未練の幽霊と怪物」でもツアー公演を予定していたが、全公演中止となった。）また、「君の庭」をロームシアター京都／穂の国とよはし芸術劇場との共同製作、「子午線の祀り」を世田谷パブリックシアターとの共同制作により実施した。

これらのことなどにより、当劇場の創造性は社会に広く訴求できたと考えている。

### （２）ステークホルダーや地域の期待への対応

そもそも県民ホールは１９７５年の開館以来、神奈川県を代表する大型文化施設として県民の方々に親しまれてきたホールであり、エポックメイキングな海外招聘のオペラ・バレエや有名アーティスト等の鑑賞会場としてだけでなく、大きな舞台面を生かした合唱、モダンバレエ、文化賞授賞式や広いギャラリーを使った県美術展など、県民による自主的な文化活動への参加の場であった。その基盤がある上に、補助金による創造活動や広域展開の充実が加わり、広域拠点としての活動の充実につながっている。

他方、2011年に県民ホールと一体運営で設置された芸術劇場は、当初から劇場法の理念を体現するミッションを掲げた運営を目指してきたが、同様に補助金による創造活動や広域展開の充実が実現できたほか、プロフェッショナルな人材育成の場としての役割も広域的に果たすことができた。

その結果、ステークホルダーとの関係としては、設置者である神奈川県からは指定管理者モニタリング評価としてS評価（平成29、30年度）、A評価（平成31年度）といった高評価を受けているほか、指定管理の活動の成果や充実した機能・人材を生かして、指定管理とは別に、地域の文化資源等の調査業務や、共生社会の実現をテーマにした文化芸術の新しい取り組み「共生共創事業」を受託するなど、県民ホール・芸術劇場に集積された機能を活用していくことを県からも期待されている。また過去5年間の指定管理業務の実績及び令和3年度からの5年間の指定管理業務の提案が認められ、令和3年度からも、県民ホール（本館/KAAT）及び県立音楽堂の指定管理業務を受託している。

また、施設が所在する横浜市とは、市が主催する大規模アートフェスティバル（ダンス、音楽、美術）に主体的に参画するなど協力関係にあるほか、

（公財）横浜市芸術文化振興財団、特定非営利活動法人国際舞台芸術交流センターとともに、国際舞台芸術ミーティング in 横浜（TPAM）を主催している。

芸術劇場では、平成29年度より10万人程度の来場が見込める長期貸館公演として、劇団四季公演を誘致し、平成30年度は約14万人、平成31年度は約9万人を超える来場者を記録した。

近接する商業地区とは、チケット提示による割引特典などエリアの回遊性を高める取り組みも行っており、近隣地域の活性化に貢献した。令和2年度は新型コロナウイルスの影響により来館者数が大幅に減少したが、当劇場が事業を継続することで、地域経済に少しでも貢献できるよう積極的に協力していく。

横浜中華街と神奈川芸術劇場がタイアップ！  
ご観劇の皆様にお得なサービスのご案内

We are Chinatown 横浜中華街  
×  
KAAT

KAAT 神奈川芸術劇場  
2019A1

タイアップチラシの例

## (5) 持続性 (平成30～令和2年度 3か年分)

### 自己評価

事業計画を通じて組織活動が持続的に発展する(と認められる)か。

持続的なアウトカムの発現・定着が期待できるか。

アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んでいるか。

持続的な活動を可能にし、劇場機能を強化していくために、以下の取り組みを総合的に行っている。

#### (1) 関係者ネットワークの強化

・毎年安定して新作公演をツアーや共同制作で各地へ巡回できる体制を整えることで、外部業者等に頼らない当団体独自の劇場間ネットワークを構築している。

・関係団体(県公立文化施設協議会、劇場・音楽堂等連絡協議会、公共劇場舞台技術者連絡会、空間演出等運用基準協議会等)において中心的な役割を担うことで、作品の巡回だけでなく、運営ノウハウの共有や相互の人材交流などを積極的に行い、公演実施の質的な向上と連携関係の強化に繋げている

#### ○ネットワーク強化の例

・平成30年度分

県民ホール・芸術劇場で創作した演目のツアー公演地(19自治体):大和市、鎌倉市、相模原市、世田谷区、西宮市、松本市、大津市、山口市、北九州市、久留米市、福岡市、益田市、長野市、江戸川区、京都市、水戸市、豊橋市、熊本市、東海市(順不同)

・平成31年度分

県民ホール・芸術劇場で創作した演目のツアー公演地(23自治体):名古屋市、札幌市、高松市、前橋市、福島市、静岡市、東広島市、西宮市、水戸市、つくば市、長野市、京都市、神戸市、久留米市、高知市、北九州市、豊橋市、盛岡市、新潟市、鎌倉市、横須賀市、綾瀬市、世田谷区(順不同)

・令和2年度分

県民ホール・芸術劇場で創作した演目のツアー公演地(3自治体):松本市、京都市、西宮市

※その他、厚木市、海老名市、岩手市、豊橋市、新潟市、北九州市、大津市、熊本市、久留米市、神戸市へのツアーが予定されていたが、新型コロナウイルス感染症拡大のための緊急事態宣言発出等の影響で、公演の一部、または全部が中止となった。

#### (2) 財源の多様化による持続性の強化

・指定管理業務のほかに、県の文化芸術に関する委託事業を、劇場が有する専門機能を活用するスキームで受託することで、県の文化政策に積極的に参画している。

・ミュージカルのロングラン公演の貸館を誘致することで、利用料金収入の安定化を図るとともに、収益の一部を文化事業へ充当するほか、貸館来場者に向けてロビーを活用した広報を行うなど、効果的な劇場運営に努めている。

・県内企業及び個人を中心に賛助会員組織を運営しているほか、インターネットを通じた小口寄付の仕組みを整備し、寄付者の拡大を図っている。(※)

※法人としては、平成31年度は県立音楽堂開館65周年記念キャンペーンを実施。クラウドファンディング<すべての人のための音楽堂>にも取り組み、多くの方から寄附をいただいた。

・しかしながら令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、賛助会員数が減少し(法人51社→40社、個人15人→12人)、寄付金総額は前年と比べ約14%減少した。他方、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった公演チケットの払い戻し分をご寄付いただく制度を導入し、41件の寄付があった。

・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響への対応策として、新たな助成制度が出来たため、事業内容との整合性を精査のうえ、文化振興費補助金・文化施設の感染症対策事業(文化庁)や、J-LOD Live コンテンツグローバル需要創出促進事業費補助金(経済産業省)等を積極的に活用し、財源の確保に努めた。

・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による臨時休館や、緊急事態宣言下における開館時間の変更、貸館事業での公演見合わせの働きかけ等により、多額の施設利用料を還付することとなった。これについては、設置者である神奈川県と協議を重ね、返還した施設利用料の一部に当たる部分を追加の指定管理料として受領することで、財団の財政面での安定に努めた。

・施設面では、特に県民ホールでは開館から50年以上が経過しており、幾度かの大規模改修を経てもなお、施設の老朽が顕著となっている。このため個別施設計画(中期的な修繕・改修計画)について県と指定管理者が定期的に意見交換する場を設け、県民ホールの今後10年を見据えた施設維持管理について検討している。

#### (3) 評価と改善(PDCAサイクル)

- ・設置者（県）が行う専門家による外部評価のほか、法人独自の外部評価の仕組みを整備し、専門委員による視察と取りまとめを行っている。

	平成 30 年	平成 31 年度	令和 2 年度
本館	11 事業 26 シート	7 事業 18 シート	5 事業 7 シート
KAAT	24 事業 49 シート	10 事業 19 シート	11 事業 28 シート
合計	35 事業 75 シート	17 事業 37 シート	16 事業 35 シート

※シート：外部評価委員による評価シートの提出枚数

- ・その上で、専門委員と劇場スタッフが出席する評価会議を開催し、課題抽出や評価手法の確認、前回会議からの業務改善課題の検証等を行い、さらにその会議結果を次の業務改善につなげている。
- ・合わせて、評価会議で劇場・音楽堂等機能強化推進事業の採択や実施結果等についても報告し、その枠組みで期待されるアウトカムの発現等についても総合的な確認を行っている。
- ・他方、平成 30 年度には理事や外部委員と劇場スタッフによる劇場運営に関する検討会を設置して、将来の劇場運営についての理念やミッションを新たに策定し、理事会での決議のもと劇場スタッフの行動指針として共有した。
- ・評価会議の結果は、最終的に理事会へ報告することを義務付けており、トップマネジメントによる継続的な業務改善の取り組みとして定着している。

#### （４）雇用及び人事戦略

- ・トップマネジメントの強い指導のもと、「働き方改革」に向けた取り組みを開始し、ワークライフバランスの取れた労働環境の創出に努めている。
- ・施設あるいは業務（施設管理・事業制作）に固定しがちだった職員を、財団本部を含め、ジョブローテーションを行うことで、財団全体の業務の平準化とノウハウの共有、さらには業務改善に取り組んでいる。令和 2 年度からは新たに各館の施設管理担当者から成る「施設運営調整会議」を立ち上げ、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、キャッシュレス決済の導入等、財団が運営する施設（県民ホール本館／KAAT、県立音楽堂）が共通で対応すべき課題事案について継続的に検討を行っている。

#### （補足）

- ・新型コロナに関する対応として、財団の持つ業継続計画（BCP）の基本的な考え方に基づき、以下の対応を行った。
 

人員管理	事業継続責任者等を設置
業務管理	優先業務の洗い出し、必要な人員・機材の手配、テレワーク等の指示 テレワークの推進のため、モバイル端末の導入及び業務用携帯電話の貸与を実施。
来館者・利用者対応	事業継続のための対策やサービス提供に向けた代替手段を検討、 利用料金の還付に関する事務手順の作成と調整
情報管理	ウェブサイト等での情報発信や県及び関係当局との連絡調整、 職員・スタッフ等への正確な連絡手段の確保
- ・また、新年度に入ってから、劇場・音楽堂等連絡協議会を通じて公文協ガイドラインの策定について意見を提出したほか、急遽、会議体が設置された緊急事態舞台芸術ネットワークに参加し、コロナ収束後の対応や支援について情報共有を進めている。
- ・設置者である県および関連団体とも意見交換を重ね、劇場の特性に合わせた個別のガイドラインを定めた。さらに状況に応じて医療専門家の最新の知見を取り込みながら必要な改定を行い、安心安全な劇場環境を整えた。

#### （５）アウトカムの持続について

- 「（２）有効性において」、当事業計画におけるⅡ～Ⅴのアウトカムが総合的に達成、発現したことにより、Ⅰのアウトカム「多様性が育む共生社会の実現」が発現したと判断した。
- 財源や施設の基盤安定に関する取り組み及び関係ネットワークの強化により、「神奈川県芸術文化創造総合センター推進事業」が持続的に推進され、評価活動および雇用・人事戦略によって改善されていくことにより、「多様性が育む共生社会の実現」に更に発展的に取り組み、あらゆる人々が集う場、共生の場としての劇場の在り方を見据え、今後の活動を継続していきたい。